

《プロジェクト名：新たに取り組むハウスのフル活用》

市町村	長井市	対象地域	長井市五十川地区	分野	土地利用型作物
実施主体名	五十川生産組合	代表者氏名	組合長 別部裕一	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	長井市五十川2164 0238(88)2035
実施主体構成	集落営農組織（組合員5名）				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	31,500千円（8,690千円）				
	独自の目標項目	・ハウス導入→1か所集約による共同育苗 4,800枚 ・水稻育苗後のフル活用（総面積1,166㎡）→きゅうり+ほうれん草+曲がりねぎ				
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）
	産出額	22,810千円	22,810千円	27,692千円	29,715千円	30,315千円
独自の 目標項目	水稻育苗面積 1,166.4㎡ きゅうり作付面積 0㎡ ほうれん草作付面積 0㎡ ねぎ作付面積 0㎡	水稻育苗 1,166.4㎡ きゅうり 0㎡ ほうれん草 0㎡ ねぎ 0㎡	水稻育苗 1,166.4㎡ きゅうり 388.8㎡ ほうれん草 194.4㎡ ねぎ 194.4㎡	水稻育苗 1,166.4㎡ きゅうり 583.2㎡ ほうれん草 388.8㎡ ねぎ 194.4㎡	水稻育苗 1,166.4㎡ きゅうり 777.6㎡ ほうれん草 388.8㎡ ねぎ 388.8㎡	水稻育苗 1,166.4㎡ きゅうり 1,166.4㎡ ほうれん草 0㎡ ねぎ 583.2㎡
プロジェクト 概要	◎実施方針	集落営農組織設立を機に、共同作業の機動力を活かし育苗後のハウスをフル活用、市場ニーズが高く年間需要の多い“きゅうり”と段播きにより収穫期間の長い“ほうれん草”さらに冬期間は“曲がりねぎ”の新規作付けを行い所得の増加を目指す。				
	○産出額の増大	きゅうり0㎡→1,166.4㎡、ほうれん草0㎡→388.8㎡、曲がりねぎ0㎡→583.2㎡				
	○雇用の創出	180人日（3名×15日／月×4か月）				
	○創意工夫	年間通じてハウスのフル活用を実践、育苗後のハウスを新たな作物の作付け（きゅうり、ほうれん草、曲がりねぎ）により生産額の増加と雇用の創出を行う。また、地域の農地、農作業の受託組織としても機能を発揮し、農地保全及び地域農業の発展に貢献する。				
	○実現性	関係機関の指導を得ながら、確実な労力の確保により、適期作業の実施、安定した生産量の確保、そして全量JAへ出荷、市場動向を見据えた販売力となっている。				
	○地域への波及効果	地域から安心して農作業を委託していただける組織としての機能の発揮				
○その他	地域から認められ、魅力ある組織としての維持継続を図るとともに、新規就農者の育成も行う。					

		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成22年度）
事業内容	①育苗ハウスの設置②育苗用灌水設備及び暗渠設備		—